

日本臨床検査専門医会

2021 年度第一回全国幹事会議事録

2021 年 5 月 21 日

# 日本臨床検査専門医会

## 2021 年度 第一回全国幹事会議事録

開催日時:2021年5月21日(金曜日)13:00~14:10 WEB開催

出席者: 〆谷直人 会長, 菊池春人 副会長, 東田修二 庶務・会計幹事,  
五十嵐岳, 田部陽子, 東條尚子, 福地邦彦, 増田亜希子, 三井田孝,  
横崎典哉 各常任幹事,  
藤井聡, 植木重治, 木村聡, 下正宗, 山崎悦子, 松野容子, 木村秀樹,  
稲葉亨, 上岡樹生, 北中明, 中島収, 松井啓隆 各全国幹事,  
土屋達行, 古川泰司 各監事  
松下弘道 選挙管理委員会委員長, 橋口照人 2022年度春季大会委員長

欠席者:村上純子 副会長,

大西宏明, 千葉泰彦, 伊藤弘康, 山崎正晴, 中村聡子 各全国幹事

オブザーバー:鹿児島大学 山口先生ほか医局スタッフ(2022年度春季大会時の参考のため)

事務局:市川綾子

定刻, 〆谷直人会長挨拶の後, 議長として〆谷会長を満場一致で選任した。議長は開会を宣した。

### [審議事項]

#### 第一号議案 議事録署名人選任について

議長は, 本会の議事録署名人の選出を議場に諮り, 下記の2名を議事録署名人として満場一致で選任した。

議事録署名人 : 植木重治 全国幹事, 下正宗 全国幹事

#### 第二号議案 2020年度決算について

東田庶務・会計幹事より, 決算案については既に総会議案として正会員宛配布されているが, 議決権行使では特に反対がなかったことが報告された。

土屋監事より, 本年1月25日に東田庶務・会計幹事, 古川監事とともに監査を行い, 収支報告に相違ないことを確認したことが報告された。

本件について議場に諮ったところ, 異議なく承認された。なお, 2020年度決算案については資料1として本議事録章末に掲載する。

#### 第三号議案 2021年度会長・監事選挙について

松下選挙管理委員長より, 2021年度選挙管理委員4名(江原佳史, 金子誠, 千葉泰彦, 松下弘道)とオブザーバー参加の東田庶務・会計幹事の出席で本年3月6日に第1回選挙管理委員会が開催され, その際に確認された今年の選挙方針1)~3)について説明があった。

## 1) 確認事項

- ・会長・監事候補者募集の文書：監事については今回から推薦制となる。推薦の場合、被推薦人に確認が取れているかをはっきり明記してもらう。（確認日記入欄を設ける）。
- ・被推薦者には委員長名で確認メールを出す。
- ・所信表明：会長候補者のみ準備してもらう。監事は推薦（自薦・他薦）制。
- ・被選挙人名簿：同姓同名の会員名欄には所属先を簡潔に明示する。
- ・候補者が不在または少ない場合：何らかの対応が必要と思われる。監事候補は複数名（辞退者が出る場合がある。会則に次点、の記載あり）。

## 2) 日程

5月25日(火)	選挙の日程を公表する(公示)…ホームページ並びにメール配信
6月7日(月)	推薦・立候補受付開始
6月28日(月)	推薦・立候補締切り
7月12日(月)	会長候補者所信表明締切
8月2日(月)	投票開始(投票用紙発送予定日)
8月28日(土)	投票締切り(消印有効)
9月7日(火)	HP上に結果を掲載

## 3) 候補者募集の文面

要点は以下の通り。

- ・2022・2023年度会長・監事(2022～2025年度)の選挙を実施する。
- ・候補者名を立候補・推薦通知用返信用紙に記載して事務局宛提出。事務局から3日以内に確認の連絡をする。
- ・会長・監事候補者の年齢は2022年1月1日現在で満70歳未満と規定されている。推薦の場合は、前もって候補者の了解を得ておく。

本件について議場に諮ったところ、異議なく承認された。

## [報告事項]

### 1. 各種委員会・ワーキンググループ報告

#### ①情報・出版委員会

福地委員長より、以下の通り報告があった。

#### 1) JACLaP NEWS: (編集主幹: 後藤和人委員 副主幹: 五十嵐岳委員)

2021年2月138号発刊, リレー形式による「臨床検査専門医への提言」を開始。求人公募も掲載した。今後も紙面の有効活用を図っていきたい。

また、「臨床検査専門医への提言」についてはホームページの「臨床検査専門医の方へ」に掲載することを認めていただきたい。

#### 2) LabCP : (担当: 信岡祐彦委員)

38巻1号発刊済。現在39巻1号, 2号準備中。第31回春季大会の講演内容を2回に分け,

掲載予定。

- 3) 日本衛生検査所協会 協会誌「ラボ」専門医のページ(担当:出居真由美委員)は、2021・2021年度は「専門医が解説する病気の検査」をテーマに、順調に進行中。
- 4) JACLaP WIRE:(担当:福地委員長)244~249号発行済。「新規掲載項目」は今年も新型コロナウイルス検出法が多数保険掲載された。248号のみ「事務局からのお知らせ」として発行済。

## ②教育研修委員会

田部委員長より、以下のとおり報告があった。

- 1) 生涯教育講演会(5月21日(金)Web開催) 共通講習:医療安全講習 2単位  
本日この会議の後、15:00からWebにて開催予定。講師は猪俣武範医師(順天堂大学医学部)、小西竜太医師(三菱商事ヘルスケア部シニアマネジャー)。
- 2) 2021年度 教育セミナーWeb開催
  - ・ 受講申込者数: 36名(6/11に確定), 期間: 6月11日から2週間配信
  - ・ 依頼業者: メイプロジェクト社
  - ・ 内容: 教育セミナー講師の先生方に講義動画を作成依頼, Web配信するとともに講義資料と実技動画をDVDで配布。講義ごとに視聴確認ができるようにする。
  - ・ 教育セミナー講師 (敬称略)

科目	氏名	所属先
輸血学	田中 朝志	東京医科大学八王子医療センター臨床検査医学科
臨床微生物学	上原 由紀	聖路加国際病院 臨床検査科 / 感染症科
臨床血液学	増田亜希子	社会福祉法人三井記念病院臨床検査科
臨床生理学	諏訪部 章	岩手医科大学臨床検査医学講座
臨床検査診断特性評価と精度管理	石田 博	山口大学大学院医学系研究科 医療情報判断学
遺伝子検査学	中谷 中	三重大学医学部附属病院中央検査部
臨床化学・免疫学・臨床検査室管理総論	米川 修	聖隷浜松病院臨床検査科
一般臨床検査学	三宅 一徳	順天堂大学医学部附属浦安病院臨床検査医学科

その他、昨年度合格体験談を2名(井上暢子, 井戸健太郎)に依頼した。

- 3) 2021年度 第5回 医学生・研究医のためのハンズオンセミナーWeb開催について
  - ・ 主催: 日本臨床検査医学会 ワークライフバランス委員会, 近畿支部
  - ・ 共催: 日本臨床検査医学会 教育委員会, 日本臨床検査専門医会 教育研修委員会
  - ・ 日程: 8月1日(日曜日) 13時~17時
  - ・ 会場: ホスト会場 東大, 講師・参加者は自宅等から出席
  - ・ 受講料: 無料対象: 医学生(5.6年), 初期臨床研修医(転科検討中の医師の参加も歓迎)
  - ・ 定員: 28名(予定)
  - ・ 開催形式: 事前収録あり, 当日リアルタイム配信

- ・ 内容: 講演・・・臨床検査専門医のキャリアパス・大学病院での専門医業務紹介  
市中病院での専門医業務紹介  
RCPC Challenge, 感染症セミナー, フリーディスカッション

広くお願いしたいこととして以下2点:

1. 医学生(4,5,6年), 初期臨床研修医, 転科検討中の医師等への参加声かけ。
2. グループ内ディスカッションの講師として参加いただける専門医を募集。

その他, 田部委員長より, 本企画については40万円の経費予算のうち10万円を共催団体の本会に負担をお願いできるか, 確認があった。この点については, 東田庶務・会計幹事より教育セミナー費の予算(65万円)から支出可能な金額である旨発言があった。

### ③資格審査・会則改定委員会

東條委員長より, 本年度7回のメール審議を行ない, 20名の新規入会希望者の資格審査を行った, と報告があった。

### ④渉外委員会

横崎委員長より, 以下のとおり報告があった。

#### 1)臨床検査振興セミナーについて

4月2日に, 賛助会員の幹事会社と打ち合わせを行ない, 今年度は7月16日(金)にWEB講演会として開催することとした。WEBに関しては業者を選定中。参加費の徴収はなし。

内容:

「体外診断薬性能試験に関わるガイドライン」(日本臨床検査薬協会 内山浩之氏)

「外国人患者とは?検査時のポイントを考える」(東京大学医学部付属病院 山田秀臣医師)

いずれも日本専門医機構臨床検査領域講習会として申請予定。

#### 2)全国検査と健康展について

現時点での開催は未定だが, 今後協力依頼があった場合, 本年度も昨年度に準じて県外への参加は自粛の方向で考えたい。

### ⑤広報委員会

五十嵐委員長より, 以下の報告があった。

- 1)羊土社レジデントノート検査の「Tips」連載:連載5年目, 2021/6月号で連載51回に到達。  
ご執筆いただける方を募集中。
- 2)SARS-CoV2 掲示板:体制安定とともに使用頻度は落ちてきているが投稿継続中。
- 3)医学生～初期臨床研修医対象 RCPC / 臨床検査医学会ワークライフバランス委員会・教育委員会合同

- a) 第 67 回臨床検査医学学術集会(盛岡) ワークショップ開催済み。  
上菟 義典医師(慶應), 松本 剛医師(信州)に出題いただき, 11 大学 36 名が参加,  
100 名前後 Live 視聴。
  - b) 第 5 回 臨床検査若手のためのハンズオンセミナー: 詳しい内容は教育研修委員会田部  
委員長から報告があったが, 形式としては, 昨年のような事前準備方式ではなく, 当日解  
答方式へ切替を検討中。
  - c) 第 68 回臨床検査医学学術集会(富山) ワークショップ: 上記ハンズオンセミナーの開催  
方式を参考に実施予定。
- 4) 新型コロナにより見通しが立たないイベント: 令和3年度 こども霞が関見学デー, JaCLAS  
EXPO 2021 ブース出展。
- 5) 「11 月 11 日記念日」一般企業とのタイアップイベント: 東京駅に期間限定広告については  
検討中(約 60~80 万)。経費の問題はあるが, コロナ関連で PR のチャンスではある。

その他, 臨床検査専門医会ネットワークに関してネットワーク運営委員会と検討中である旨  
報告があった。5) の駅構内の広告に関しては, 植木全国幹事から費用を抑えるため, また,  
広報対象を絞る意味で Web 広告も選択肢として考えられるのではないかと発言があった。

#### ⑥保険点数委員会

三井田委員長より, 来年度の診療報酬改定について以下のとおり報告があった。

- 1) 3月 11 日: 厚労省と臨床検査振興協議会の第 1 回勉強会, 厚労省より, 単純な増点は難し  
いことが強調された。
- 2) 4月 2 日: 臨床検査振興協議会の第 4 回診療報酬改定小委員会が開催された。最終的に本  
会からは「鼻腔・咽頭拭い液採取」のみを提案することになった。
- 3) 4月 9 日から後半にかけて: 最終提案書と資料, 概略図について委員会内でメール審議を行い,  
活発に意見交換を行い, 改訂最終案を内保連へ提出。なお, 令和 6 年度の改訂に向けて, 検体  
管理加算のあり方について議論を続けることが確認された。
- 4) 5月 13 日: 内保連検査関連委員会によるヒアリング。
- 5) 5月 28 日: 第 2 回厚労省との勉強会(予定)。その後内保連から厚労省へ提案書の提出, 希望  
学会は厚労省ヒアリングの流れになる。

三井田委員長より, 新型コロナウイルスの「鼻腔・咽頭拭い液採取」を増点する代わりに別の  
検査の点数を下げるように求められる可能性があるが, その点はどのような対応がよいのか  
確認があった。東條常任幹事より, まずは現在の保険点数では全く足りていない点を強調して  
はどうかと発言があった。

#### ⑦ネットワーク運営委員会

増田委員長より, Q & A の移行と今後のシステムの在り方については五十嵐広報委員長とも

相談しながら進めていきたい、と報告があった。

#### ⑧法人化検討ワーキンググループ

菊池副会長より、現状について以下の報告があった。

検査血液学会の法人化の際、業務の依頼をした岡部公認会計士に確認したところ費用については 60 万ほどと回答があった。×谷会長からは振興協議会が法人化するにあたり、本会の法人化も急ぎ進めてほしいとのことだったが、そもそも総会で法人化することの承認を得ていない段階である。定款の承認、登記の問題、理事長の選任と会長選挙との兼ね合い等考慮すべき問題があり、年内法人化は難しい状況と思われる。

×谷会長より、臨床検査振興協議会は来年 4 月 1 日に法人化を目指しているが、構成員 5 団体(本会のほか、日本臨床検査医学会、日本臨床衛生検査技師会、日本衛生検査所協会、日本臨床検査薬協会)すべてが法人化されていないと登記手続きが煩雑になってしまうため本会も来年 3 月には法人化の手続きが終わっているよう求められている、と説明があった。

増田常任幹事より、検査血液学会では岡部公認会計士に会計顧問をお願いしている、と紹介があり、×谷会長より岡部氏に法人化の手続きを依頼できればと考えているとの発言があった。菊池副会長より、今後については、総会で法人化の承認を得てから、定款の提示・承認を得る流れが必要と考えている、秋の総会の前に臨時総会を開いて、まずは法人化の承認を得るようにしたい、と発言があった。

×谷会長より、このあとの総会で会員に法人化に向けての今後の流れを説明する、とまとめがあった。

#### ⑨女性医師支援ワーキンググループ

村上副会長に代わり五十嵐幹事より、以下の報告があった。

ワーキンググループメンバーで出し合った意見をもとに Web アンケートを作成、内容を検討中。アンケート項目としては、専門医の有無、雇用形態、家庭状況、女性であることで困窮した事象があったか、コロナ感染拡大の影響があったか等を考えている。女性会員 120 名あまりを対象に 7 月上旬を目途に実施したい。

田部常任幹事より、アンケート対象を女性に限らず実施してもよいのではないかと発言があった。

## 2. 第 68 回日本臨床検査医学会学術集会共催シンポジウム(2021 年 11 月 11 日～14 日、富山)

教育研修委員会 田部委員長より、以下の内容で準備中であることが報告された。

テーマ:「臨床検査の社会貢献」:市中病院やクリニックの第一線の活躍されている先生方が現場で感じていること、抱負などを共有できればと考えている。

座長:東田 修二 常任幹事, 涌井 昌俊 教育研修委員会委員)

演者:井戸 健太郎医師(大阪みなと中央病院), 朝比奈 彩医師(静岡赤十字病院 検査部 副部長), 眞鍋 明広医師(福山市民病院 診療部 臨床検査科長), 三宅 紀子医師(つばめクリニック院長)

3. 第31回(2021年度)春季大会(2021年5月21日~22日, 秋田)

植木全国幹事(大会長)より, 当初ハイブリッドでの開催を考えていたが, 1か月前に急遽Webのみでの開催に変更となった, 今後の方向性を考えていけるような内容(テーマ「どこへ?」Where we are going?)を企画したと報告があった。

4. 第32回(2022年度)春季大会(2021年5月20日~21日, 鹿児島)

橋口大会長より, 次年度春季大会について, 来年春の状況を見てそのときの最善の方法で開催したい旨発言があった。

また, テーマ「次世代バイオマーカーへの挑戦」と, 桜島をバックにしたポスターの紹介があった。

5. 臨床検査振興協議会派遣役員の紹介

谷会長より, 本会から派遣されている臨床検査振興協議会の役員, 各委員会の委員について以下のとおり紹介があった。

臨床検査振興協議会	副理事長	谷直人	
	理事	菊池春人	
診療報酬委員会			
診療報酬改定小委員会	委員	佐藤尚武	三井田孝
診療報酬制度小委員会	委員	松下一之	
医療政策委員会			
在宅医療における臨床検査小委員会	委員	亀田徹	鯉淵晴美
遺伝子関連検査に関する小委員会	委員	松井啓隆	松下一之
感染症対策に関する小委員会	委員	上原由紀	春木宏介
将来ビジョン検討委員会	委員	谷直人	東田修二
広報委員会	委員	小柴賢洋	五十風岳
大規模災害対策委員会	委員	谷直人	菊池春人



## 6. その他

下全国幹事より、各企画のポスターには QR コードを掲載するとアクセスしやすいので検討いただきたい、と発言があった。

木村全国幹事より、SNS を通じた広報については進展があるのか確認があった。増田常任幹事より、SNS は学会で運用する場合はさまざま注意が必要であること、他学会での運用方法を参考に内規の整備なども必要になる点の指摘があった。五十嵐広報委員長より運用する場合は複数の担当者が必要であるとの発言があった。

以上をもって全議案の審議並びに報告を終了したので、議長は閉会を宣し解散した。

### 議事録署名人

2021 年 7 月 12 日

植木 重治

---

2021 年 7 月 28 日

下 正宗

---

資料 1

2020年度 収支決算

		項目	2020年度予算額	2020年度決算額	予算と決算の差		
収入欄	会費	会員会費	6,535,000	5,930,000	-605,000	年会費未納者	
		賛助会員会費・寄付金	3,300,000	3,300,000	0	A社, B社未納、C社 19年+20年分を納入、 D社20年+21年分を納入	
		小計	9,835,000	9,230,000	-605,000		
	その他入金	広告収入	250,000	131,077	-118,923		
		教育セミナー参加費	400,000	190,000	-210,000	資料販売代金による収入	
		生涯教育講演会参加費	200,000	0	-200,000		
		振興セミナー参加費	60,000	0	-60,000		
		利息	1,000	861	-139		
		小計	911,000	321,938	-589,062		
	入金合計		10,746,000	9,551,938	-1,194,062		
支出欄	庶務経費	事務所維持費	1,700,000	1,786,225	-86,225		
		人件費	1,750,000	1,598,678	151,322		
		設備費	50,000	126,500	-76,500	ミーティングオウル新規購入	
		電話・FAX使用料	60,000	54,246	5,754		
		通信費(事務局)	210,000	189,708	20,292		
		事務局雑費	150,000	140,709	9,291		
		小計	3,920,000	3,896,066	23,934		
	事業経費	印刷代	1,400,000	636,082	763,918		
		要覧印刷代	0	0	0		
		通信費	600,000	335,835	264,165		
		春季大会補助金	500,000	500,000	0	キャンセル料405,797円(会場、抄録など)	
		臨床検査振興セミナー費	850,000	244,200	605,800	キャンセル料(会場費)	
		教育セミナー費	650,000	277,951	372,049	セミナーは中止。資料作成などで支出	
		会議費	1,000,000	451,433	548,567		
		交通費	100,000	51,680	48,320		
		宿泊費	30,000	10,270	19,730		
		原稿料	50,000	0	50,000		
		専門医会ネットワーク維持費	100,000	12,540	87,460		
		HP維持費	330,000	0	330,000		
		会員管理委託費	132,000	132,000	0		
		広報活動費(委員会HP)	50,000	0	50,000		
		JCCLS会費	50,000	50,000	0		
		WASPALM会費	55,000	53,248	1,752		
		臨床検査振興協議会	300,000	300,000	0		
		内保連	200,000	200,000	0		
		予備費	429,000	0	429,000		
		小計	6,826,000	3,255,239	3,570,761		
		出金合計		10,746,000	7,151,305	3,594,695	
		収支決算		0	2,400,633	2,400,633	
		前年度繰越金+定期預金			28,762,218		
次年度繰越金+定期預金			31,162,851				

日本臨床検査専門医会 2020年度決算報告書  
(2020年1月1日～2020年12月31日)

2020年12月31日現在

【一般会計】

収入 詳細は会計帳簿記載	入金	9,551,938	28,314,156
	前年度繰越金	18,762,218	
支出 詳細は会計帳簿記載	庶務経費	3,896,066	7,151,305
	事業経費	3,255,239	
収支および次年度繰越金			21,162,851

次年度繰越金	ゆうちょ銀行振替口座 残高証明書 別紙	20,096,696	21,162,851
	三菱東京UFJ銀行口座 残高証明書 別紙	1,013,654	
	現金	52,501	

【特別会計】


定期預金	三菱東京UFJ銀行口座 残高証明書 別紙	10,000,000
------	-------------------------	------------

【残高合計】

次年度繰越金＋定期預金	31,162,851
-------------	------------

2021年1月25日

庶務・会計幹事

東田 修二 

2020年度日本臨床検査専門医会収支報告は、監査の結果、上記に相違ないことを認めます。


2021年1月25日

監事

古川 泰司 

2021年1月25日

監事

土屋 達行 

以上